



殿村遺跡（●印）と会田盆地北部の地形



同上（北東から）



殿村遺跡（中央）と虚空蔵山城跡（右上）



殿村遺跡から西方を望む（手前：会田宿、後方：五常地区）



調査地の位置と周辺の地形 (S = 1/2500)



1次調査 A区全景 (2面・西から)



同上 (2面・上から)



Aトレンチ 北壁東部の土層断面 (4～3面石積前空間・石積A・B被覆土、2面造成土)



Aトレンチ 南壁東部の土層断面 (4～3面石積前空間埋立土・2面造成土)



Bトレンチ 東壁南部の土層断面 (2～4面平場造成土・基盤造成土)



Bトレンチ 東壁中部土層断面
(1～4面平場造成土・基盤造成土・地山)

Yトレンチ 東壁の土層断面
(4面平場造成土・基盤造成土・5面遺構)



5面 遺構検出状況
(A区西壁下・南から)



5面 遺構検出状況 (Yトレ・南から)



5面 住1 (Bトレ・東から)



5面 住1土器出土状況 (Bトレ・東から)



3・4面 石積A完掘状況 (西半・南から)



3・4面 石積B1～B3完掘状況 (南から)



3・4面 石積A①(南から)



3・4面 石積A②(南から)



3・4面 石積A③(南から)



3・4面 石積A④(南から)



3・4面 石積A⑤(南から)



3・4面 石積A⑥(南から)



3・4面 石積A⑦(南から)



3・4面 石積A⑧(南から)



3・4面 石積 A ㊟ (南から)



3・4面 石積 A ㊟ (南から)



3・4面 石積 A 裏込土 (Qトレ・西から)



3・4面 石積 A 基盤造成土内かわらけ・桃核出土状況



3面 石積 B2・B3 (西から)



4面石積 B1、3面造成土 (SE3トレ・北から)



3面 石積 B3 裏込土 (版築状・北から)



4面 基盤造成土内木製品出土状況・ビット検出状況 (K1トレ・南から)



4面 西北部址群・石列4周辺(西から)



4面 焼土1202(南から)



4面 焼土1203炭化物層(東から)



3・4面 石積前空間碗・木製品出土状況



3・4面 石積前空間木製品出土状況



3・4面 石積前空間木製品出土状況



4面 石列4(南から)



4面 石列4裏込土(Xトレ・西から)



4面 石列 8 (西から)



4面 土塁・石積 C (Fトレ・西から)



4面 土塁断面 (SE2トレ・西から)



2面 全景 (東から)



2面 P1009 (南から)



2面 P429 柱材出土状況 (南東から)



2面 建13 (東から)



2面 建15 (東から)



2面 礎石 554 (建13・北から)



2面 礎石 773 (建13・西から)



2面 礎石 758 (建15・南から)



2面 礎石 750 (建15・南から)



2面 炉址群・1面石列2 (北西から)



2面 焼土365・368 (東から)



2面 焼土365 (東から)



2面 焼土368内耳鍋 (No.135) 出土状況 (南から)



2面 焼土368 (東から)



2面 焼土372 (南から)



2面 焼土783 (北から)



2面 溝465 (東から)



2面 溝 509・511 (東から)



2面 溝 777 (北から)



2面 溝 1346・1面石列3 (北から)



2面 石列6 (東から)



1面 全景 (東から)



1面 北西部完掘状況 (北東から)



1面 北東部完掘状況 (南西から)



1面 P93 (南から)



1面 P99 (南東から)



1面 P155 (西から)



1面 P156 (東から)



1面 P872 銅銭出土状況 (南から)



1面 P1011 (柱列 10・南から)



1面 建 7～9・溝 223・229 (東から)



1面 礎石 283 (南から)



1面 礎石 283 銅銭出土状況 (西から)



1面 建1 (南から)



1面 土728 堆積状況 (西から)



1面 土831 炭層検出状況 (北西から)



1面 土831 北半 (北西から)



1面 土873 (南東から)



1面 土877 (北から)



1面 土877 茶臼 (No.1) 出土状況 (南東から)



1面 焼土824 (東から)



1面 石列1 西半完掘状況(南から)



1面 石列1(東から)



1面 石列2(東から)



1面 石列3(西から)



1面 石列9(東から)



1面 溝182・183(北から)



Eトレンチ 遺構検出状況(東から)



Eトレンチ 西壁土層断面(東から)



Fトレンチ南 延長部(北西から)



Iトレンチ南 遺構検出状況(南東から)



Iトレンチ南 完掘状況(北から)



Iトレンチ北 西壁土層断面・遺構検出状況(南東から)



Iトレンチ北 西壁土層断面・遺構検出状況(北東から)



Jトレンチ 東壁土層断面(北西から)



土師質土器皿



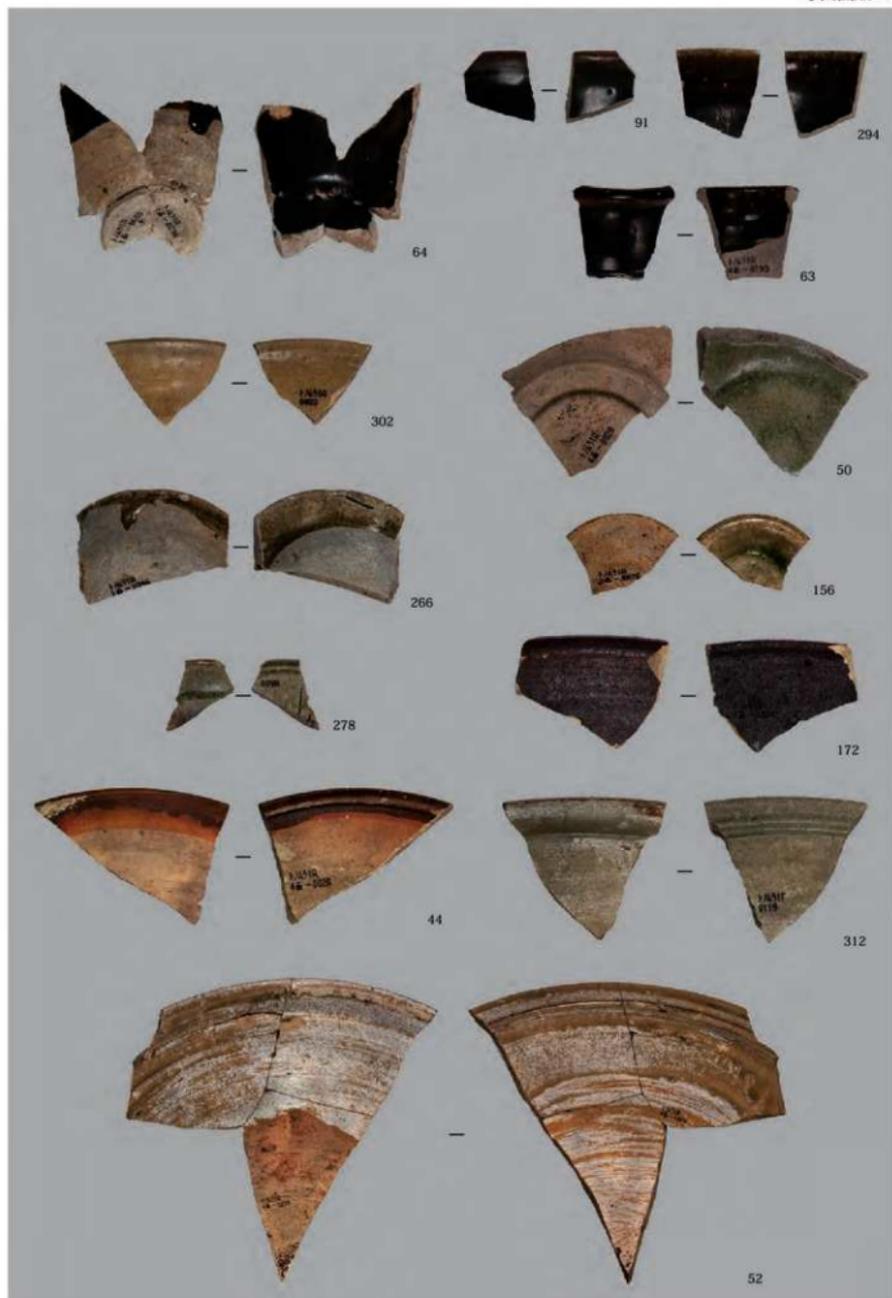
2種類の胎土が観察される土師質土器皿



土師質土器皿の内面調整 (左: 1方向のナデ、右: 未調整)



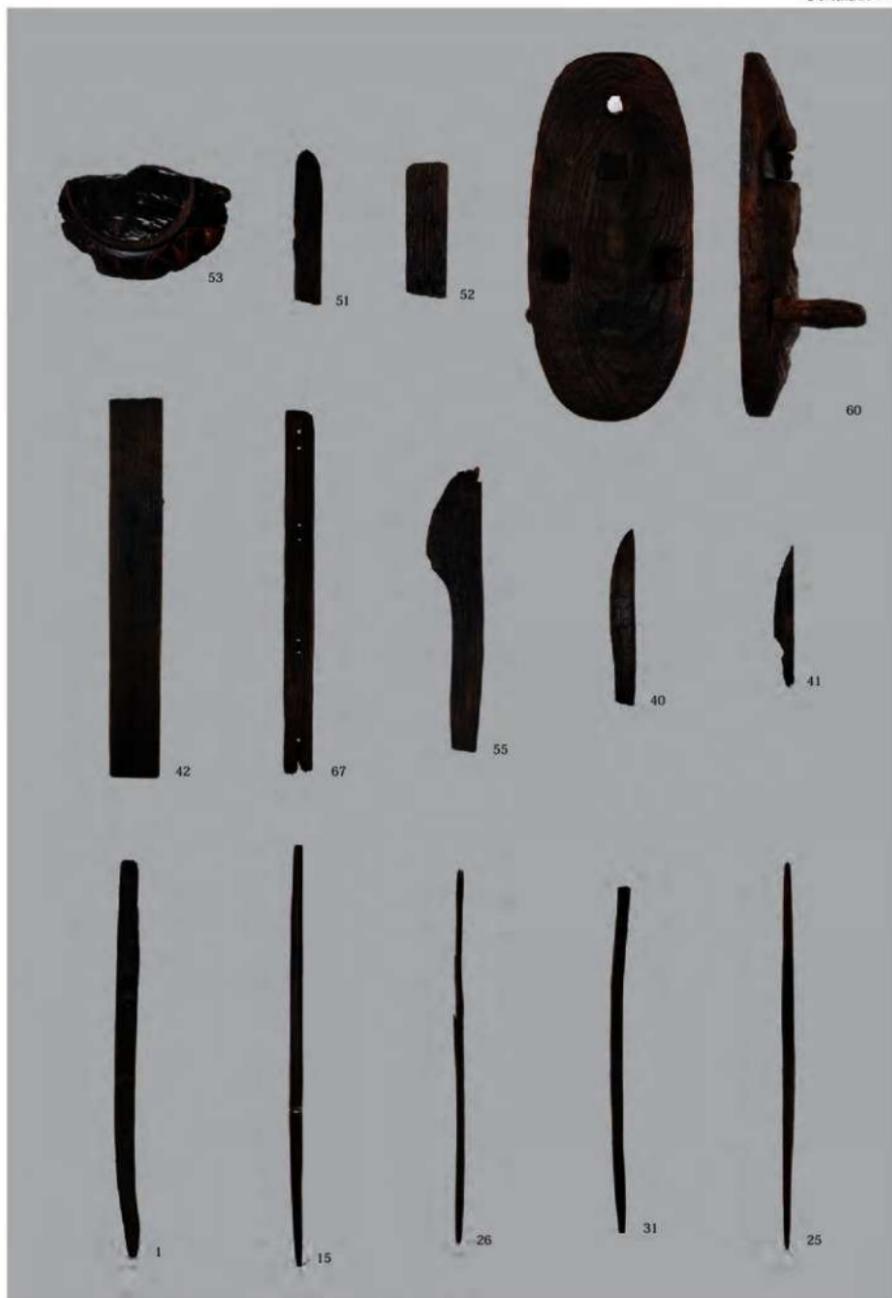
土師質土器内耳鍋



古瀬戸 (S = 1 : 2、52のみ 1 : 3)



中国産陶磁器・瓦質土器・珠洲・常滑 (S = 1 : 2)



木製品 (S = 1 : 3)



石製品 (S=1 : 3)



金属製品・鍛冶関係資料・ガラス製品 (S=2 : 3)



9次調査 9E1 トレンチ全景 (南から)



同上中央 (東から)



東壁北側土層断面（西から）



竪 2147（北から）



青磁香炉（No.1）出土状況（北から）



土 2133（北から）



土 2138（南から）



土 2161（東から）



溝 2148（南から）



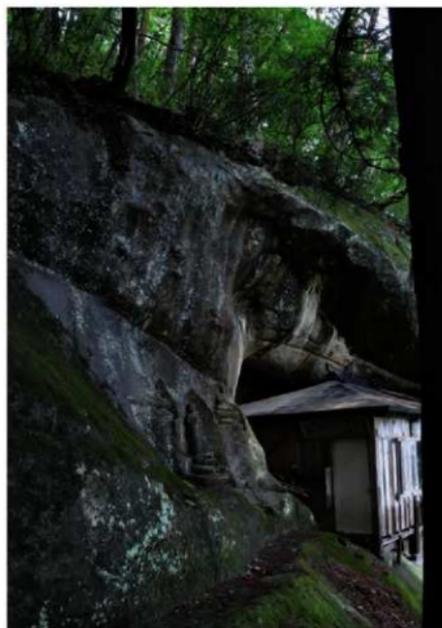
溝 2148 石出土状況（南西から）



9E1 トレンチ出土焼物・石製品・金属製品（焼物・金属 S=1:1、石 S=1:5、石鏃は 4:5）



虚空蔵山・虚空蔵山城跡全景（南から）



岩屋社全景（社殿と磨崖仏）



岩屋社脇のモミ



オゲ水と岩屋社参道入口の鳥居



岩屋社正面と下段の岩壁・石積 1 平場 1 から



舞殿



社殿内部



東の壁龕 1 ①



東の壁龕 2 ②



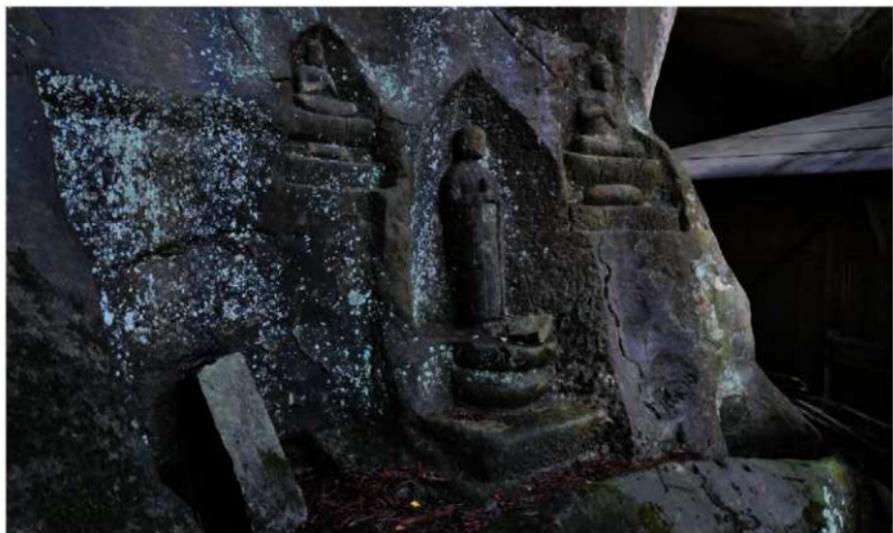
社殿西脇の壁龕



岩屋社（南東下から）



平場1石積2



磨崖仏（西から）



立像（地藏）



岩2（南東から）



岩 3 (南東から)



岩 3 (西から)



岩 4 (西から)



秋吉砦最上部の岩 5



岩 6 (南から)



秋吉砦東のガレ沢



山頂直下の輝石安山岩節理



山頂稜線上の輝石安山岩岩場 (三角点付近)



5次 5A1 トレ 3面石積 B3 (右) と石積 F (正面)



5次 5A1 トレ 3面石積 B2・B3 (左) と土塁



2次 2A1 トレ 4面土塁と土塁上の石積 C、土塁裾の石積 D (右)



7次 7A1 トレ 土塁 (左奥) と3面石積 I



4次 4A1 トレ 4面石積遺構 (便所) と平場東縁の法面



6次 6A1 トレ 4面土坑と1面掘立柱建物址



3次 3A1 トレ 2面石列



6次6D2トレ 石積Gと平地



2次2C1トレ 平地



8次8B1トレ 土坑・ピット群と石積



7次7E1トレ 平地と池



殿村遺跡 1次調査 試掘調査



1次調査 第1面の調査と測量記録



1次調査 石積A・Bの調査



1次調査 中川小学校児童見学



1次調査 土層剥ぎ取り



1次調査 石積Aの三次元測量



1次調査 調査指導 (小野正敏氏)



1次調査 人力と重機による埋め戻し作業



虚空蔵山 岩屋社の三次元測量



9次調査 集合写真

報告書抄録

ふりがな	ながのけんまつもとしどのむらいせきはつつちようさほうこくしょ (だい1・9・そうかつ)・こくぞうさんじょうあといわやしやしゅうへんそくりようちようさほうこくしょ							
書名	長野県松本市殿村遺跡発掘調査報告書 (第1・9次・総括)・虚空蔵山城跡岩屋社周辺測量調査報告書							
副書名								
巻次								
シリーズ名	松本市文化財調査報告							
シリーズ番号	No.239							
編者名	伊藤藏之介、植田弥生、栗田 愛、竹原 学、原田健司、廣田早和子、宮島義和							
編集機関	松本市教育委員会							
所在地	〒390-8620 松本市丸の内3番7号 TEL 0263-34-3000 (代)							
	(記録・資料保管: 松本市立考古博物館 松本市中山3738番地1 TEL 0263-86-4710)							
発行年月日	2020 (令和2)年3月27日 (令和元年度)							
ふりがな	ふりがな	コード	遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村						
とのむらいせき殿村遺跡	ながのけん 長野県 まつもとし 松本市会田 539 外	20202	1023	36 度 21 分 8 秒	137 度 59 分 3 秒	20090907 ~ 20100129 20170718 ~ 20171006	2027 m ² 90 m ²	保存目的の 範囲・内容 確認調査
こくぞうさんじょうあといわやし 虚空蔵山城跡	ながのけん 長野県 まつもとし 松本市中川 1252 外		1016	36 度 21 分 36 秒	138 度 0 分 22 秒	20180927 ~ 20190320	1400 m ²	
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物			特記事項
殿村遺跡 (第1次)	散布地 集落跡 社寺跡 城館跡	縄紋	なし		土器・石器			保存目的の 範囲・内容 確認調査
		古代	住居址: 1 ピット: 689 柱六列: 23 孤立柱建物: 16 礎石: 26 礎石建物: 5 土坑: 137 焼土面・炉: 31 溝状遺構: 54 集石: 2 石列: 14 石積: 6 土塁: 1 道路状遺構: 1 池状遺構: 1 計: 1007	土師器・黒色土器・須恵器・灰釉陶器 焼物: 土師質土器 (皿・大型皿・播鉢・内耳鍋)、 炆器 (須恵質播鉢、珠洲系釜、常滑系壺・甕)、 瓦質土器 (播鉢・風炉・火鉢)、 無釉陶器 (山茶碗)、 古瀬戸・大窯系施釉陶器 (天目茶碗・平碗・ 丸碗・豆皿・縁鉢小皿・折縁深皿・直縁大皿・ 卸皿・合子・碗形鉢・播鉢形小鉢・播鉢・瓶子他)、 船載陶磁器 (天目茶碗、青磁碗、白磁碗・瓶子) 石器・石製品: 硯・砥石・茶臼・石臼・石鉢 木製品: 漆桶・下駄・曲物・狹巾・番串状木製品・ 短冊状板・刀形・部材・端材・削屑 金属製品: 鉄製品 (刀子・釘)、銅製品 (銭・不明品) 鍛冶関係資料: 羽口・増埴・鉄洋 骨製品: 不明品 自然遺物: 貝・その他				
殿村遺跡 (第9次)	散布地 集落跡 社寺跡 城館跡	古代～近 世	壑穴状遺構: 1 ピット: 5 土坑: 5 溝状遺構: 2		土器 古代: 黒色土器・須恵器・灰釉陶器 焼物: 土師質土器 (皿・内耳鍋)、瓦質土器、古瀬 戸系施釉陶器 (皿・盤・香炉他)、船載陶磁器 (青 磁香炉) 石器・石製品: 石臼 金属製品: 鉄釘・銅銭・キセル吸口他 鍛冶関係資料: 鉄洋			
虚空蔵山城跡 (岩屋社周辺)	社寺跡 城館跡	中・近世	岩屋 (社殿): 1 磨崖仏: 1 壁壘: 2 平場: 3 石積: 2 石段: 1					
要約	<p>殿村遺跡は、調査事業の端緒となった1次調査と事業に係る中世を対象とした遺跡の範囲内容確認に係る9次調査の成果を取組、遺跡の中央部、旧会田中学校校庭で実施した1次調査地点 (1A区) からは、造成による造成面4面を含む5面以上の遺構面が重層する平場跡が検出され、15世紀前半～16世紀に拡張が繰り返された状況が明らかになった。広大な平場上からは礎石建物跡や孤立柱建物跡、柱六列、土坑、溜め井戸、炉址等が石列や築地塼、溝で区画された空間内から検出されるとともに、石積を伴う巨大な池状遺構が築造されるなど特異な状況も窺えた。出土遺物の主体を占める焼物の大半は土師質土器皿 (カワラケ) が占め、瀬戸産陶器や青磁他貿易陶磁器が一定量を占めることや船載品を含む天目茶碗や茶壺、瓦質風炉、茶臼等の茶道具が伴う状況が見られた。他に視の出土量が多い池状遺構内から番串とみられる串状の木製品が多量に出土した点等、遺構・遺物のあり方から判断して寺院等の宗教施設に関わる遺構と推定される。</p> <p>中世の造成による平場の検出やその後の調査成果から広範囲に広がる事が判明し、9次調査ではその東限を確認する目的で遺跡東部の民地内で実施した。その結果、調査地点では中世の遺構・遺物が見られるものの、切土・盛土による平場の造成は認められなかったため、平場群の東限は調査地まで及ばないことが確定となった。</p> <p>殿村遺跡はその背後に聳える独立峰虚空蔵山を核とする中世の地域的な宗教空間の一端を示す遺跡と推定されるが、その点を補強するため虚空蔵城跡中の巨岩・洞窟遺構である岩屋社周辺の測量調査を実施した。本遺構は山中に展開する急峻な岩場の稜線や磐生祭祀を思わせる岩壁、谷部の湧水点やその周辺に築かれた平場等、城跡とは様相を異にする遺構の一つとして捉えられ、現在でも神仏習合した信仰施設の姿を伝えている。磐生祭祀や修験に関わる山籠堂等の行場に関わる遺構として中世以前に起源が遡る可能性が高く、測量により具体的構造が明らかになった。</p>							

松本市文化財調査報告№ 239

長野県松本市

殿村遺跡

—発掘調査報告書（第1・9次・総括）—

発行日 令和2年3月27日

発行者 松本市教育委員会

〒390-8620

長野県松本市丸の内3番7号

印刷 精美堂印刷株式会社
